

令和3年度 さいたま市立見沼小学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立見沼小学校学校運営協議会
会長 森田 暁

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

- 1 保護者向けの質問の「2 学校は、子どもが分かりやすい工夫して授業を行っている。」について、2年生の保護者の否定的回答の割合が大きいように感じる。
- 2 保護者向けの質問の「9 お子様は、学校生活を楽しいと感じている。」「10 子どもたちは、学校や家庭でおはようやありがとうなどのあいさつを進んですることができている。」「11 お子様は、友だちと仲良くすることができている。」について、3年生の保護者の否定的な回答の割合が大きいとを感じる。
- 3 先生方の元気が子どもたちへの指導にも影響するため、何より先生方に元気に働いてほしい。教職員向けの質問の自由記述欄に、やりがいや働き方改革に関して課題と思われる記述があったため改善されるといいと思う。
- 4 児童向けの質問の「3 休み時間には校庭に出て運動するなど元気に生活できている。」について、今後に向けて具体策はあるか。
- 5 GIGAスクール構想によって教員の仕事は増えたか。
- 6 オンライン授業の実施によって不登校が増えることが心配である。
- 7 児童向けの質問の「11 地域の人と関わりながら生活している。」について、1年生の肯定的な回答の割合が大きいのなぜか。
- 8 保護者向けの質問において、「分からない」という回答の割合が大きいの、コロナの影響で学校に来る機会が減ったのが原因だろうか。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

- 1、2、8について、否定的な回答の割合が大きいように感じるが、実際は「分からない」が多い。コロナにより学校に来る機会が減ったことが影響していると考えられる。さらなる情報発信に努めるなど、学校の取組が分かるような工夫をする。
- 4について、「運動が苦手」「委員会や係の仕事等やることが多い」「タブレットをしている」等の理由が多かった。その改善策として、学校課題研究（学校保健）と関連付けて自分の健康について考え実践できるようにする。委員会や係の内容・行い方について検討する。タブレットの休み時間の使い方について検討する。
- 5について、仕事が増えた点もあれば減った点もある。オンライン授業は常に授業参観を行っているようで負担に感じている教員が多い。
- 6について、欠席状況調査票を活用した欠席3日目の組織的な初期対応を行うとともに、SC、SSW、教育相談部による攻めの相談を行っていく。
- 7について、小学校に入学して多くの人と関わっていることを1年生自身が実感している現れではないかと考える。地域と関わりながら生活していることを実感できるような教育活動を2年生以降も継続していく。

さいたま市立見沼小学校
校長 佐藤 俊夫